

## 2019年度 第10回 常任理事会議事録

日 時 2020年3月14日(土) 10時00分～11時55分

場 所 北海きたえーる小研修室

出席者 生島典明、黒田謙二、渋谷研一、大江憲一  
印藤智一、田中昌幸、沓沢幸一、丸山道博  
浅野泰弘、櫻庭功一、多田吉宏、春間好実  
藤原 正、田中 淳

<進行：印藤副理事長>

### 1. 開 会

※議事録署名人に生島会長、渋谷理事長、印藤副理事長、藤原常任理事の以上4名とする。

### 2. あいさつ（渋谷理事長、生島会長）

新型コロナウイルスの影響で午後からの理事会を中止とした。会長とも相談し理事には書面での承認をお願いすることとした。本日は異例の状況の常任理事会のため会長、副会長も出席していただき、事業計画等の審議し原案を書面で各理事に報告する。新年度の事業計画も今後の状況により中止や延期も想定されるが、その都度、会長、副会長と相談の上対応していく。その中で2月の6人制総合大会、ヴォレアスのホームゲーム、3月は中学生優秀選手選抜大会が中止となった。天皇杯皇后杯ファイナルラウンドの中止、4月以降予定していたデンソーの札幌合宿（紅白戦）が中止、5月～7月のデンソー主催の小中学生スクールが延期の検討中、4月初旬の各委員会も状況を見て延期、書面やメールを活用しての連絡をお願いする。（渋谷理事長）

本来今年はスポーツ界にとっては良い年になる予定であったが、新型コロナウイルスの影響がいろいろなところで大きな混乱があるのかと危惧している。こういう時期なので我々競技団体がしっかりしないと全道のパレーポラーが路頭に迷うので、綿密な連絡や十分な協議、を実施し、混乱を少なくして頂きたい。（生島会長）

### 3. 協議事項

#### (1) 2019年度第4回理事会の開催について

○総務委員長より理事会の中止の経緯と理事会の承認方法について説明があり、本日の常任理事会の確認事項と議事録を理事に送付し書面での承認を頂くことについて了承をお願いします。

<会長、副会長、常任理事の承認がある>

○理事会資料の協議事項を審議するに当たり、総務委員長より特別会計に組み込むチャレンジ・ファンド規程（案）について説明し、確認と承認をお願いします。財産の運用については理事会承認が必要となるが、年間100万円を総額として予算化して、その使用方法については常任理事会でその都度決定し最終的に理事会と寄付者に報告をするという提案をしたい。

<質疑>

・黒田副会長：第4条2項に「理事会に目的承認された案件として」の文言追加修正案がある。

⇒理事会では間に合わない場合等、基金をフレキシブルに運用するためである。

- ・生島会長：強化育成基金との違いに、目的が強化育成基金と重複する点について確認がある。  
⇒次の通り規程（案）を修正する。「第1条 バレーボールの将来を担う人材育成や大会運営に要する費用の財源等に充てるため、・・・」、「第4条2項 前項の規程によりファンドを使用する場合は事業計画を策定し、常任理事会の決定を経なければならない。」

<第1条と第4条2項の原案を修正することで承認される>

- ① 令和2年度協会運営の基本方針（案）について、渋谷理事長より東京オリンピックに道内審判員の派遣、ヴォレアス北海道、サフィルヴァ北海道の活躍と地域に根差したバレーボール活動の展開、2年連続国体での入賞を盛り込んだ内容の説明がある。<承認される>

- ② 令和2年度事業計画（案）について各専門委員会から説明がある。

- ・総務委員会：委員長より各種会議、財政運営、体罰暴力の根絶、新 MRS の説明がある。

- ・競技委員会：委員長より会議日程の変更、9人制総合大会の廃止、6人制総合大会は加盟団体と大会運営について検討中との説明がある。

- ・審判委員会：委員長より4/5の伝達講習会はかでの2・7で午前中の講義のみ開催し、午後からの実技を中止とするが3/19以降変更もある。ここ数年Vリーグホームゲームの開催が多くなり、新規判定員を育成するための技術統計研修会を7月大学選手権大会で実施する。道外の全国6人制審判講習会（3/21 東京）、全国9人制審判講習会（3/22 大阪）、全国ビーチ審判講習会（3/22 神奈川）及び全国審判委員長会議は中止となる。

- ・強化委員会：委員長より、中学生強化事業のゴールド事業は2023年北海道インターハイに向けての事業となる。高校生強化事業の長身者ブロック合宿は新型コロナウイルスの影響で会場の確保ができていない状況である。その他事業の日本スポーツ協会公認バレーボールコーチ・上級コーチ資格取得派遣は中止となった。

- ・指導普及委員会：委員長より4/4予定の全道指導普及委員長会議の会場が確保できていない状況のため中止の方向で検討中である。重点目標にある体罰防止講習会をジュニアキャンプ（1次）伝達講習会兼各地区推進委員指導研修会は日程を変更して実施する。中学校競技大会関係の第3次キャンプについて実施するか判断を3月中に決定する。

渋谷理事長より、2/26全国加盟団体責任者総会でJVAは体罰・暴力・ハラスメント撲滅対策委員会アクションプランのコンプライアンス教育を全国9ブロックで実施する。

- ③ 令和2年度一般会計・特別会計予算（案）について総務委員長から説明がある。

- ・第3回理事会での決定事項により収入では賦課金が社会人4団体分減り、支出の部では助成費が減る。世界大会に併せて実施していた会議旅費について増額となる。特別会計予算は強化育成基金の繰越額にワールドカップ収益金500万円が入り、繰出金は審判員育成事業が技術統計研修会に1万円増、北海道中学生強化交換会（未開催年）及び総合大会経費が5年終了となり117万の減となる。チャレンジ・ファンドは先ほどの審議でひとつの基金となり予算計上しており、前年度繰入金は100万円、繰出金はきたえーるロールバツ

ク代他として 393,250 円を計上し残額の 606,750 円が令和 2 年度の繰越金となる。本年度予算は繰越金と繰入金 100 万円で 1,606,750 円の収入、理事会として 100 万円を年間の枠として常任理事会に事業計画を提出してもらい支出をする。

・教育・育成基金の内訳について各委員会から説明がある。審判委員会は 5 つの事業の他に道内で V リーグ大会が増える中、技術統計員の不足を補うため、新たに技術判定員育成事業を立ち上げ、今年度から技術統計員の育成に使用させていただく。強化委員会は国体少年強化対策事業の説明がある。

#### <質疑>

・黒田副会長：広い北海道において重点地区を設け審判講習会を実施するなどの育成基金を有効に使用して頂きたい。また、JOC で強化された選手の進学先は北海道なのか。

⇒資料 P13 地区審判員バックアップ事業において、同じ地区が続かないよう配慮し、全国大会開催地には必ず講習会を実施している。JOC で強化された選手の進学先はほぼ道内である。

#### <承認される>

#### ④ 令和 2 年度定時評議員会の開催日時等について

・5 月 23 日（土）15 時から定時評議員会を開催する予定である。（会場は調整中）議案は 2019 年度決算書等の認定の件他である。

#### <承認される>

#### ⑤ その他 高体連より 4 月以降の大会運営について、新型コロナウイルスの対応を北海道協会から発信して頂きたい。

⇒渋谷理事長より、3 月 19 日の方針を基に中に何らかの形で発信できるよう調整する。

#### ○報告事項

① 北海道スポーツ協会表彰候補者の推薦について、第 9 回常任理事会において北海道協会として碓井喜晴氏を推薦することを提案し承認されており、推薦書類も提出済みである。

② 令和 2 年度全道大会開催地について競技委員長から報告がある。

#### (2) FIVB 国際バレーボール連盟公認コーチ（レベルⅡ）の推薦について

○指導普及委員長より雑賀雄太氏に北海道協会からの推薦依頼の提案があり、承認される。

#### (3) その他

○総務委員長より今回のような事態に対応できる規約の改正（電磁記録、みなし決議）を 5 月の評議員会に提案する。4 月の常任理事会に規約の改正案を作成する。

#### 4. 報告事項

##### (1) 日協関係

○渋谷理事長より 2 月 26 日加盟団体代表員総会資料の令和 2 年度全国大会日程の説明がある。7 月 7 日加盟団体代表員総会においてオリンピック代表壮行会を実施する。ジャパンビーチバレーボールツアーが全国で実施し、北海道では 7/11, 12 にアリオ札幌で開催する。

○MRS の 2021 年度変更は白紙となるが、消費税増税分の値上げとなる。（2,000 円が 2,200 円）

○体罰・暴力・ハラスメント撲滅対策委員会アクションプランのコンプライアンス教育についての報告がある。

○ヴォレアス北海道がJVAに提出した要望書について報告がある。

(2) 各委員会

○総務委員会 JVAから倫理案件の情報が届いており、早急に倫理委員会の開催を実施する。

○競技委員会 令和2年度の大会において、3/19の答申を受けてから検討する。

○審判委員会 3/19の動向で事業の判断をしていく。

○強化委員会 3/19の動向で4月の第1回男子強化指定選手合宿(高校生)の実施判断を行う。

○指導普及委員会 3/19の動向で事業の判断をしていく。

○クラブ連 4/19開催の北海道社会人9人制大会の延期について検討している。

○学連 4月からの大会実施対応策を3パターン検討して対応する。

○ビーチ連 学連としてビーチ大会の朝、ビーチカップ予選会実施の依頼をしている。

(3) その他

○丸山ブロック競技委員長より日本スポーツマスターズ2019 岐阜大会不正出場について、不正発覚の経緯と現在参加資格について国内競技委員会に確認中であるとの報告がある。

5. 閉会

【次回：令和2年4月18日(土)10時00分・北海きたえーる】

議事録署名人

会 長

金島典明



議事録署名人

理 事 長

渋谷研一



議事録署名人

伊藤智一



議事録署名人

藤原正

